

JAとうかつ中央 自己改革への取り組み

2019年度 抜粋

2019年度「都市農業振興5か年計画 実施計画」
取り組み状況のご報告



とうかつ中央農業協同組合

2019年度 実施計画取り組み状況 概要 (2019年4月～2020年3月)

所得・生産性向上の支援

■ 土壌診断(無料)の実施

- ・19年度申込 113名 482件 (前年452件)
検査終了後、営農指導員より施肥指導実施

■ 集出荷施設の整備

- ・五香六実支店集荷場—19年3月末完成、4月から使用開始
- ・古ヶ崎・六和地区— 19年3月末経済センター内に仮施設(テント)完成
4月から使用開始。新店舗用地に集荷場建設中

■ 農業生産資材の引き下げ

- ・近隣市場調査 (農薬・肥料4月)
当JA農薬取扱上位55品目中50品目が最安値
全農・農薬メーカーと価格交渉、価格引き下げ (5月)
- ・ラウンドアップ特別価格販売 (6～7月) チラシ作成・配布ご案内
- ・JA肥料担い手対策(助成金)の支給 (5月)と継続実施 (令和元年度)

■ 農業振興資金の利用拡大 (保証料JA負担)

- ・19年度実行実績 松戸市 19件 鎌ヶ谷市 6件 流山市2件
計 27件 42,650千円 (前年28件 47,120千円)
- ・農業振興資金案内チラシを作成し、鎌ヶ谷・流山管内にご案内 (11月)



地産地消の拡大とマーケティング力の発揮

■ 生産履歴管理

- ・19年度入力実績 67名 793件 (前年984件)

■ 主力品目の販売強化

- ・販売促進イベントの実施 (役職員)
松戸産枝豆 (6月)・松戸産梨 (8月)・矢切ねぎ (1月) アトレ松戸店
- ・直売生産者向け「のぼり旗」無料配布
まつどの梨・かまがやの梨・流山産えだまめ (6月)
まつどのいちご・かまがやのいちご・ながれやまのいちご (12月)
- ・全国ねぎサミットへの参加 (矢切ねぎ・あじさいねぎ・松戸ねぎ生産者)
(11月)

■ スーパー・インショップ等による販売拡大

- ・販売促進イベント イオン鎌ヶ谷店・コープ鎌ヶ谷店・コープ東深井店

■ 多様な販売チャネルの検討

- ・あじさいねぎ6次化新商品開発(産学連携 — 川村学園女子大学)
- ・あじさいねぎ販売促進活動 (あじさいねぎを使った新メニュー開発)
産学連携 (和洋女子大学・川村学園女子大学 6～11月)
- ・農畜産物応援定期貯金「大地の輪」による地産地消推進
平成30年度下期分 当JA農産物当選者 437名
令和元年度上期分 当JA農産物当選者 422名
- ・鎌ヶ谷産梨の海外輸出支援 — マレーシア (9月)
- ・松戸産梨の6次化事業検討 (2月～)

■ JAによる地産地消拠点の新設の検討

- ・JAによる農産物直売所に関するアンケート調査実施(2～9月)
回答数 790件 (直売所必要60%)



後継者・担い手の人材育成

■後継者・若手農業者への経営力向上支援

- ・モデル農家訪問活動



■相続・事業承継支援

- ・顧問税理士による税務セミナー開催（6・10月）
消費税率引き上げ・民法改正(相続税)について



■3市(農政・農業委員会・商工等関係部署)との関係強化

- ・流山産農産物販売イベント（流山地区納涼祭イベント会場 8月）
- ・松戸まつりに協力（松戸産農産物販売 10月）
- ・柏レイソル松戸ホームタウンデーに協力
（松戸産梨・あじさいねぎ贈呈 10月）
- ・鎌ヶ谷農業まつりへの参加（10月）
- ・全国ねぎサミットプレイベントへの参加（11月）
- ・まつど大農業まつりの開催（全国ねぎサミットとの同時開催 11月）
- ・流山農業まつりの開催（12月）



■3地区商工会、東葛飾農業事務所との連携体制づくり

- ・鎌ヶ谷の梨・ふるさと産品販売促進イベントへの参加（8月）
- ・鎌ヶ谷産梨サイダーの生産・販売協力（農商工連携 9月）
- ・松戸産ビール(梨使用)試作に協力（農商工連携 9月）
- ・流山森のマルシェで流山産農産物販売に協力（農商工・行政連携 10月）
- ・松戸商工会議所でのJA事業連携提案講演（1月）



■食農教育・農業体験活動の取組み

- ・梨生産課外授業(受粉・摘果・収穫)協力（松戸管内小学校5校 4~6月・9月）
- ・ファイターズ鎌ヶ谷スタジアムイベント(農業体験)協力（4・7・9月）
- ・さつまいも植付課外授業協力（流山管内5月）
- ・高木第二小管内食育応援組織「むぎの会」への製粉機寄贈（6月）
- ・鎌ヶ谷市親子梨狩り体験教室（鎌ヶ谷市との共催8・9月）
- ・さつまいも堀体験の実施（流山管内幼稚園等8園 9~10月）
- ・流山市総合運動公園周辺 体験型農業検討（12・2月）



■これまでのJAとうかつ中央の「自己改革」の主な取り組み

● 2016年

農業振興計画プロジェクトチーム新設。JA組合員健康診断助成金の増額。JA婚活イベント開催。農家アンケートの実施。生産履歴管理システム導入。農業電子図書館導入等。

● 2017年

土壌診断の無料化を実施。認定農業者を主な構成員とする経営管理委員会発足。農業振興資金に係る基金協会保証料の全額JA負担を実施。役職員全員によるJA自己改革研修会を本店で開催。認定農業者と役員との意見交換会開催等。

● 2018年

モデル農家選定、ヒアリング及び定期巡回開始。認定農業者と役員との意見交換会開催。CS（顧客満足）活動発表会。
JAの自己改革に関する組合員アンケート実施。農業ボランティア養成講座を支援。農業振興課を新設、営農経済部の強化を図る。JA自己改革及び「都市農業振興5か年計画」実施計画研修会を開催。「駅ナカ」で地場産農産物をピーアール。農業等の市場価格調査と価格引き下げの実施。JAと行政が連携し農業体験を市民へ。市内幼稚園と保育園児へ食農教育活動。認定農業者との対話・報告会。全国ねぎサミットでピーアール。全組合員調査決起大会等。

JAとうかつ中央は、「農業者の所得増大」「農業生産拡大」「地域の活性化」を実現し、組合員・利用者のニーズに応え、協同の力で豊かな暮らしやすい地域社会の実現に貢献していきます。

JAとうかつ中央 都市農業振興計画基本フレーム



計画の実施

事業体制の整備

営農指導・経済事業推進体制の整備

管内農業・JAの情報発信

JAとうかつ中央では、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目指すため「都市農業振興5か年計画」を策定して取り組んでいます。

実施においては、毎年認定農業者との意見交換会等を実施し、組合員皆さんの要望や営農・経済事業に関する意見をふまえ、改善・改革を短期的課題と中長期的課題に分類し、具体的な取り組みを進めています。

今後も引き続き協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの対話を深めてまいりますので、お気づきの点等ございましたら、是非JAとうかつ中央までお寄せください。